

活動名	団体名 安地区まちづくりプランプロジェクト「おとなりさん」
	地域 広島県広島市
	代表者 代表 横山 慎吾
	支援金額 20万円
活動概要	
<p>「おとなりさん」は平日の放課後や休日の子どもたちの居場所づくりを主な目的とし、近隣の大学生が運営スタッフとして活動しています。現在は、広島市安公民館で大学生スタッフと子どもがトランプやカルタなどのゲームや折り紙、工作などをしたり、子どもたちに勉強を教えたりしています。また、子どもたちの体験活動の場を広げるために、おとなりさんまつりやスポーツ大会などのイベントを開催しています。おとなりさんでは、スタッフと子どもたちとの交流だけでなく、スタッフ同士、子ども同士の交流が行われているほか、安ふれあい祭りなどへも積極的に参加して、地域との交流も深めています。</p>	
<p>◆実施時期：2008年4月1日～2009年3月31日 広島市安公民館</p>	
<p>◆参加人数：子どもと大学生スタッフの交流活動…1日あたり10～15名 クッキングイベント…37名 母の日イベント…47名 父の日キャンペーン…33名 6周年記念イベント…88名 スポーツ大会…64名 公民館祭り…470名（重複あり） クリスマス会…50名 八敷子ども会クリスマス会…91名 おとなりさんまつり…186名</p>	
参加総人員 1,066名	



《安ふれあい祭り》



《活動風景/今日はドミノ倒し♪》



《スポーツフェスティバル/うちわの賞状》



《第7回おとなりさんまつり》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・イベントや活動を通して、子ども達が学校・年齢・性別を越えて触れ合える機会が増えた。
- ・「おとなりさん」を知ってくれる子どもが増え、来てくれる子どもが増えた。
- ・イベントを通じて子ども達が普段できないことを楽しんでくれたり、保護者の方も「おとなりさん」について理解してくれたりした。
- ・毎週、同じ曜日に普段の活動に来てくれる子どももいて、勉強したり、遊んだりできる子どもの居場所になっていると思う。
- ・多くの地域の方に「おとなりさん」を知ってもらうことで、ボランティアを行いやすい環境になった。
- ・保護者の方に「おとなりさん」の良さを感じて頂いたり、普段の活動やイベントに対して感謝の声を頂いたりした。
- ・地域の方々に子どもが大学生と触れ合える場があつてうれしいと感謝された。
- ・八敷子ども会のクリスマス会は、普段活動している地域とは違う地域の子ども会から依頼をされた。そして、「おとなりさん」の活動をきっかけに、子ども間で新たな交流が生まれたと感謝された。
- ・安ふれあい祭りで他の団体の手伝いをすることで、感謝された。

◆苦労した点

- ・イベントへの参加希望の申し込みが定員に対して多かったため、イベントに参加できない子どもがいた。
- ・スタッフが大学生のため、大学との両立をするためにイベントの準備に十分な時間をかけることができないときがあった。
- ・お祭りなどの定員のないイベントでは、子どもの人数の想定が難しかった。
- ・スタッフの人数が多いので、全員が把握し、同じ意識を持つことは難しいと思った。
- ・子ども同士のトラブルの対応、注意の仕方に困った。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・子どもと大学生スタッフの交流活動の見直しをして、1日の活動の内容を充実させる。
- ・11月の安ふれあいまつりなどを通して、地域の方との関わりをより深めていきたい。
- ・イベント前には、話し合いの場を増やし、スタッフが共通認識を持てるようにする。
- ・イベントなどの広報を見直す。

◆活動を終えての感想・意見等

支援金を頂くことで、その枠の中で何ができるかなど、年間計画を考えやすかったです。また、公民館外でのイベントも行うことができ、活動の幅も広げることができたと思います。1年間の活動を通して、たくさんの子どもの笑顔をみることができ、私たち大学生スタッフも大学ではできない経験をすることができました。
ありがとうございました。